

金沢市新産業成長ビジョン 骨子（案）について パブリックコメントでのご意見の概要と市の考え方

募集期間：令和5年1月18日（水）～2月16日（木）

意見提出状況：意見提出者 5人

件数 6件

1. 「めざす姿 本物の価値を高め、創造・変革していくまち 金沢」について（1項目）

NO.	ご意見の内容	金沢市の考え方
1	「本物の価値を高め、創造・変革していくまち 金沢」とあるが、そのさきに何かあればと思う。 みんなに愛されるまち 金沢 住みやすい街、魅力あふれる街 金沢 etc	「本物の価値を高め、創造・変革していくまち 金沢」の実現に向けて、新たな産業の創出や成長、地域経済の発展、市民生活の向上につながる具体的な取り組みを通じて、ご意見を頂いた愛されるまちや住みやすいまちづくりを進めてまいります。

2. 「戦略1 デジタルを活用し、「リアル」の価値をより高め、成長するまち」について（1項目）

NO.	ご意見の内容	金沢市の考え方
1	金沢市は伝統産業がある街なので、最先端技術の導入を進めていく中で、これらの産業が淘汰されないようにしてほしい。	本市における多彩な伝統工芸品産業は、世界に誇る基幹産業であるとともに、藩政期以来400年以上にわたり市民の質の高い生活を支え、「伝統工芸の盛んなまち」として、金沢のアイデンティティの根幹をなしております。今後とも、伝統産業の継承と技術の保存に取り組んでいくとともに、工芸品の付加価値を高めるため、最先端技術を駆使し、革新を加えることで、未来に向けて産業の活性化につながる取り組みを進めてまいります。

3. 「戦略2 外に開かれ、人と人が交わり、つながり続けるまち」について（2項目）

NO.	ご意見の内容	金沢市の考え方
1	新幹線開業により首都圏をはじめ新幹線沿線地域からの金沢駅までのアクセスは飛躍的に向上した。しかし金沢駅からの二次交通、特にバス網は地元民以外からすると非常に難解。金沢版MasSの導入・構築を検討していくべき。	過度に自動車に依存することなく、シームレスかつ自由に移動できる次世代交通サービスの実現に向け、交通事業者や利用者、関係機関と行政が一体となり、金沢MaaSコンソーシアムを立ち上げ、金沢MaaSの推進に取り組んでいるところです。
2	金沢未来のまち創造館がクリエイター・デザイナー・アーティスト等多様な人材を集積する拠点なのではないか。	金沢未来のまち創造館は、クリエイター等を集積する拠点としての機能も有しており、既にオフィスや研究室にクリエイターやデザイナーも入居していることから、引き続き、金沢未来のまち創造館を拠点に多様な人材の集積と交流を図ってまいります。

4. 「戦略3 進取性と多様性を受け入れ、挑戦を支えるまち」について（1項目）

NO.	ご意見の内容	金沢市の考え方
1	「進取性」は、耳なじみのない言葉なので、注釈を付けるなどすればよいのではと思いました。	「進取性」とは「自ら困難な課題に果敢に挑戦すること」である旨、明記しました。

5. 「戦略5 金沢の「文化」と「産業」が融合して、高い付加価値を生み出すまち」について（1項目）

NO.	ご意見の内容	金沢市の考え方
1	文化については観光資源としてソフト消費されている部分が大半と感じる。一方でハードである伝統工芸品は小さい個店にバラけてしまっている印象があり、様々な種類の伝統工芸品が一堂に会し、そこに行けば何でも揃うような売場が欲しい。	小さい個店には、専門的な工芸品の取り扱いのみならず、制作方法や作り手の思いも情報発信できるなど、個店ならではの個性や魅力があります。その一方で、本市は、希少伝統工芸品などの展示・販売を行う店舗として、「金沢・クラフト広坂」や「dining gallery 銀座の金沢」を設置し、様々な工芸品を取り扱っています。また、昨年度から実施しているデジタル工芸展において、多様な分野の伝統工芸作家や職人、作品の国内外への魅力発信に努めております。